

3月2日 | 市民後見人ってなあに？

プラザおおりで、市内で活動する市民後見人による「成年後見セミナー」が開催されました。

認知症などにより判断することが難しい人を支える成年後見制度。市に登録している後見人8人が、寸劇やクイズを通して、その必要性や活動の喜びなどを伝えました。後見人の一人である上田和正さんは「同じ市民だからこそできることがある」と参加者に向けて語りました。



3月20日 | 新たな児童クラブを開設

「NPO 法人 空と大地と」は六合地区で、放課後児童クラブ「ひみつ基地 2号」を開所しました。

開所式には地元自治会や市など関係者約40人、続く見学会には親子約50人が参加。大橋妙子理事長は「たくさんの人の協力があって、開設することができた。子どもたちが成長できる場所にしたい」と話しました。

六合地区ではこの他、同じく民間クラブの「ぞうさん児童クラブ B チーム」も開所されました。

3月22日 | 園舎に響く最後の歌声

認定こども園伊久身幼稚園で閉園式が行われ、53年の歴史に幕が降ろされました。

同園は昭和46年4月に、山間部の幼児教育の充実を目的に開園。これまでに677人の園児を送り出してきました。式典では、これまでの歴史を振り返るスライドショーの放映や、オリジナル曲「なかよし幼稚園」を披露。歴代の卒園生・先生などが駆け付け、思い出深い学び舎の最後を惜しまました。

